「振り込め」未然に防ぐ

揖斐署 大垣信金支店に感謝状

揖斐署は24日、振り込め詐欺被害を未然に防いだとして、池田町六之井の大垣信用金庫池田支店に署長感謝状を贈った。



伊藤善弘署長から感謝状を受け取った土屋宗司支店長と窓口担当の吉岡美咲さん(左から)＝揖斐署

同署によると、男性会社員(40)が「700万円を振り込みたい」と来店。同信金では多額の振り込みの際は用途を確認するよう心掛けており、応対した窓口担当の吉岡美咲さん(21)が「先物取引の負債の買い取り」という返答と、振込先が個人名であることを不審に思い、上司に相談した上、同署に通報し、架空請求詐欺を未然に防いだ。

同支店の土屋宗司支店長(51)と吉岡さんが揖斐署を訪れ、伊藤善弘署長から感謝状を受け取った。2人は「今後もお客さまの大切な預金を守るため全員で努力したい」と話していた。

同署管内は振り込め詐欺被害が激増しており、伊藤署長は「区長やケアマネジャーら高齢者宅を訪れる人に広報するなど網の目を細かくし、未然防止に努めたい」と語った。(森嶋哲也)

無断複製・転載を禁じます